

うと市議会だより

編集 / 議会だより編集委員会
発行 / 宇土市議会 令和5年2月1日発行
宇土市浦田町51番地
TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313
<https://www.city.uto.lg.jp/>



宇土小学校第2児童クラブ施設

令和5年4月から受入れが開始される宇土小学校第2児童クラブ施設です。この児童クラブの創設で40人の定員増となります。令和4年12月定例会で条例改正の議案を審議しました。（関連記事P2・16）

主な内容

P 2	令和4年12月定例会
P 3	令和4年第3回臨時会
P 4 ~P14	一般質問
P15~P16	委員会報告
P17~P18	議案・陳情等の議決結果
P18	編集後記

一般質問の動画は
こちらをチェック！



令和4年 12月定例会

12月定例会を11月30日から12月15日まで、16日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、宇土市部設置条例の一部改正など条例関係14件、令和4年度宇土市一般会計補正予算など予算関係10件、決算関係7件、人事案件2件、その他5件、議員提出議案として宇土市議会の個人情報の保護に関する条例の制定など4件が上程されました。

このうち、決算関係の7議案については、決算審査特別委員会を設置、付託し、次期定例会(3月議会)までの間、閉会中の継続審査としました。

その他の議案については、いずれも原案どおり決定しました。議案の主な内容は下記のとおりです。なお、各委員会での審査内容は15～16ページに、議決結果は17ページに記載しています。

条例

◆宇土市個人情報保護法施行条例

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、同法の施行に関し必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。

【主な内容】

- ・開示請求に係る手数料を無料とし、写しの交付等に係る実費(コピー代等)を請求者の負担とする。
- ・専門的知見に基づく意見を求める諮問先を宇土市情報公開・個人情報保護等審査会とする。
- ・現行の宇土市個人情報保護条例を廃止する。

【施行日】 令和5年4月1日

◆宇土市納骨堂条例

宇土市二の丸墓園納骨堂を設置し、その管理等に必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。

【主な内容】

- ・使用者の資格 本市に居住し、かつ、祖先の祭祀をつかさどるべき者
- ・使用料

種別	使用料
納骨壇(最上段)	1室につき 300,000円
納骨壇(上段又は中段)	1室につき 250,000円
納骨壇(下段)	1室につき 200,000円

- ・管理料
納骨壇1室につき、年間5,000円
- ・使用料の消滅

①使用者が死亡した日から起算して5年を経過しても祭祀を承継すべき者がないとき。

②使用者の住所が10年以上明らかでないとき。

【施行日】 令和5年5月1日。ただし、必要な準備行為は、施行前においても行うことができる。

◆宇土市放課後児童クラブ施設条例の一部改正

宇土小学校敷地内に新たに宇土小学校第2児童クラブを創設するため、条例を改正するもの。

【主な内容】

- ・既存の宇土小学校児童クラブ施設に隣接して、新たに宇土小学校第2児童クラブ施設を創設する。

【施行日】 令和5年4月1日

◆宇土市水道事業給水条例の一部改正

私債権である水道料金等の適正な債権管理を行い、円滑な水道事業運営に資するため条例を改正するもの。

【主な内容】

- ・給水中止中の料金(550円/月)の規定を廃止する。
- ・水道加入金を引き上げる。

メーターの口径	加入金(現行)	加入金(改正後)
16mm以下	30,000円	50,000円
20mm以下	60,000円	100,000円
25mm以下	90,000円	150,000円
40mm以下	300,000円	500,000円
50mm以下	540,000円	900,000円
75mm以下	1,050,000円	1,750,000円
100mm以下	2,100,000円	3,500,000円
150mm以下	4,200,000円	7,000,000円

・適正な債権管理を行うため、債権放棄の規定を見直す。

【施行日】 公布の日ほか

予算

◆令和4年度宇土市一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出それぞれ6億9,381万4千円増額し、総額を223億1,524万9千円とする。主なものは、社会資本整備総合交付金事業(修繕)(国補正分)、水産物供給基盤機能保全事業(国補正分)の増額補正。

◆令和4年度宇土市一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出それぞれ294万円増額し、総額を223億1,818万9千円とする。人事院勧告に伴う人件費の増額補正。

◆令和4年度宇土市一般会計補正予算(第10号)

歳入歳出それぞれ1億634万円増額し、総額を224億2,452万9千円とする。主なものは、船場川湛水防除事業(国補正分)の増額補正。

人事

◆宇土市固定資産評価審査委員会の委員の選任(任期3年)

甲斐 正信 さん(再任)

◆人権擁護委員の候補者の推薦(任期2年)

山本 多美男 さん(再任)

◆令和4年度宇土市一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出それぞれ6億9,381万4千円を増額し、総額を223億1,524万9千円とする。

費目 (歳出概要)	補正額 (単位：千円)	歳出の主なもの ()内は補正額【単位：千円】
総務費	19,669	財政調整基金経費(8,137)、社会保障・税番号制度経費(5,952)
民生費	71,298	障害者福祉サービス事業経費(29,682) 介護サービス事業所物価高騰対策支援金事業(31,100)
衛生費	7,379	清掃総務費 一般経費(5,656)
農林水産業費	243,493	漁村再生交付金事業(107,690) 水産物供給基盤機能保全事業【国補正分】(110,000)
商工費	20,125	新型コロナウイルス感染症対策事業【営業時間短縮要請協力金】 (19,825)
土木費	315,542	社会資本整備総合交付金事業【修繕】【国補正分】(205,705) 都市計画道路整備事業【国補正分】(89,000)
消防費	3,269	防災センター改修事業(2,993)
教育費	10,978	物価高騰対策事業【子ども昼食費等支援分】(3,756) 走潟地区体育館駐車場整備事業(2,913)
災害復旧費	2,061	令和4年台風14号災害対策経費【湛水防除事業】(2,061)

ピックアップ

◆宇土市議会の個人情報の保護に関する条例

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定めるとともに、議会の事務の適正かつ円滑な運営を図りつつ、個人の権利利益を保護する必要があるため条例を制定するもの。

【主な内容】

- ・個人情報の開示請求等があった日から開示決定等までの期限を30日以内とする。
- ・開示手数料は無料とし、写しの交付等実費を徴収する。
- ・審査請求があったとき及び専門的な知見に基づく意見を聴くことが特に必要と認めるときは宇土市情報公開・個人情報保護等審査会に諮問する。

【施行日】

令和5年4月1日



令和4年 第3回 臨時会

第3回市議会臨時会を11月4日に開催しました。

臨時会では、市長提出議案として、令和4年度宇土市一般会計補正予算(第7号)についての1件が上程され、原案のとおり決定しました。



発言順	氏名	質問事項（大項目）	掲載ページ
1	土黒 功司	(1) ローカル・マニフェスト「仕事を支える / 賑わい創造」に関して (2) 学校教育向け ICT 環境推進に関して (3) 不登校児童に関して (4) 地域防災に関して	5
2	杉本 寛	(1) 歴史資料館建設について	6
3	中野 洋一	(1) 伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施（出産・子育て応援交付金）について (2) 災害避難所におけるペット同行について (3) 人口増加へ向けての取組について (4) 魅力ある宇土市の PR について	7
4	浦本 晴美	(1) 西部地区が抱える問題について (2) 男女共同参画について	8
5	佐美 三洋	(1) お試し移住・お試し農業にかかる移住体験短期滞在施設の必要性及び空き家対策の運営を民間委託することについて	9
6	今中 真之助	(1) 新型コロナウイルス感染症について (2) 学校教育について (3) 本市のDXの推進及び外部人材の活用について (4) 職員の負担軽減について	10
7	櫻崎 政治	(1) 新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ同時流行対策について (2) 安心安全のまちづくりについて (3) 小中学校施設におけるバリアフリー化について	11
8	野口 修一	(1) 生活環境 (2) 職員採用・活用 (3) 教育レベル (4) スポーツ施設誘致	12
9	中口 俊宏	(1) 安全・安心なまちづくりについて (2) 青少年の健全育成について (3) 宇土地区の景観対策について	13
10	福田 慧一	(1) 新型コロナウイルスとインフルエンザ同時流行対策について (2) 物価高騰対策について (3) 介護保険・国の見直し改定について (4) 小中学校校則の見直しについて (5) 市職員の育児休業の取得状況について	14

※上記質問事項については、一部記事として掲載されない場合もあります。

「決算審査特別委員会」を設置（R4.12.15）

○決算審査特別委員会

委員長	副委員長	委員		
野口 修一	土黒 功司	中野 洋一 園田 茂	佐美三 洋 柴田 正樹	今中 真之助 村田 宣雄

≪決算審査特別委員会とは≫

歳入歳出予算執行の実績である決算の案件を審査するために設置される委員会のことをいいます。議会が決定した予算が適正に執行されたか、見込んだとおりの行政効果を達成することができたかを審査し、その結果は翌年度以降の予算編成や行政執行に生かされます。



仕事を支える

- 国土交通省「国土強靱化計画」(国土強靱化計画)の推進
- 国土交通省「国土強靱化計画」(国土強靱化計画)の推進
- 国土交通省「国土強靱化計画」(国土強靱化計画)の推進
- 国土交通省「国土強靱化計画」(国土強靱化計画)の推進

暮らしの環境

- 国土交通省「国土強靱化計画」(国土強靱化計画)の推進
- 国土交通省「国土強靱化計画」(国土強靱化計画)の推進
- 国土交通省「国土強靱化計画」(国土強靱化計画)の推進
- 国土交通省「国土強靱化計画」(国土強靱化計画)の推進

「仕事を支える/暮らしの環境」の各項目は個別に実現できるものではなく、
産業・商業・観光等の各分野が連携し、協働する動きが大事

例) 一次産業：自由市場(駅から小売へ、ブランド化、ネット販売)
観光：「もの消費」→「こと消費」と消費)

→この社会環境の変化における、現在の市の動き・体制は?

課を跨いだ連携した取組を

子どもは地域の未来!
これからの宇土に向けて、
学校教育・子育て環境への積極的な投資を行い、好循環を生み出す

学校教育 (ICT環境)、子育て環境

地域格差のない教育環境
多様な学習スタイル

宇土のイメージアップ

子育て世代の流入
ITを活用した新たな地域産業や雇用の創出

学校教育 (ICT環境)、子育て環境の充実を

賑わいのあるまちづくり, 子育て環境の充実を



(無所属)

土黒 功司 議員

**ローカルマニフェスト
「仕事を支える/賑わい
創造」について**

問 様々な産業が連携して取り組めるための、課を跨いだでの横断的な取組・対応は。

答 宇土市観光物産協会、うと地蔵まつり実行委員会、宇土市の句を届ける実行協議会等の各組織の事業があり、関連する課で情報共有・連携に努めているが、まだまだ不足している部分がある。その課題解決に向けて引き続き鋭意努力し、さらなる連携強化を図りたい。(経済部長)

問 スピーディでより柔軟な動きができる、課を跨いだ横断的な組織体制を検討していくべきではないか。

答 市長との情報共有や指示事項が直接受けられる市長直下の部署、部や課を跨ぐような横断的な組織体制が必要だと考えている。

いる。まず、本市の重要課題と考える中でも、とりわけ意思疎通を図りながらスピード感を持って進めなければならぬ土地開発部門について、市長直轄の部署を新設して対応したいと考えている。(市長)

**学校教育向けICT環境
推進について**

問 現在の学校ICT関連の整備状況と、保護者や子ども、先生への反応は。

答 児童・生徒用タブレットは令和2年度までに3,190台の整備を行い、一人1台の端末整備が完了している。端末整備以降、保護者や子ども向けの意見聴取は行っていない。令和6年度に教育立市プランの見直しが行われ、来年度はその準備期間となるのでその中でいただいた意見を分析・検証した上で、その後の改善につなげていきたいと考えている。

要望 是非、積極的に現場の声を聞いて改善につなげて欲しい。(教育部長)

不登校児童に関して

問 現在の不登校児童等の現状と市の体制は。

答 10月末時点を基準とした不登校児童生徒の毎年度の人数は、令和2年度34人、令和3年度60人、本年度52人。支援が必要な家庭等へ、教育委員会と子育て支援課を中心として、ケース会議を行いながら関係機関へのつなぎや相談等の支援を行っている。今後は、児童相談所や警察等との連携もしっかりと行いながら、教育委員会・子育て支援課を含む市として横の連携を図りながら、速やかに適切な対応がとれるような、さらなる体制強化の検討が必要と考えている。また、児童生徒がほっと安心して学べる居場所機能の充実にも取り組んでいく。(教育部長)

要望 当事者家族にとって精神的な支えが強く求められている。当事者の声、保護者の声をしっかりと聞いて精神的な支えとなる体制を整えていただきたい。



現教育委員会庁舎

教育委員会跡地とその周辺整備について

歴史資料館建設について



(無所属)
杉本 寛 議員

問 新庁舎建設後の教育委員会庁舎跡に計画中的である歴史資料館設置の意義・目的は。また、その計画の内容について尋ねる。

答 市では、新庁舎完成後の教育委員会庁舎について、歴史資料館等の機能を有する施設として有効活用を図ることとしている。

計画の背景として、本市には埋蔵文化財の発掘調査出土品や古文書、民族資料のほか、行政事務上必要とされる保存期間を満了した歴史的文書等、膨大な資料を保有しており、これらを市内の各施設に分散して管理しているが、収蔵スペースにほとんど余裕がないのが現状である。このことから、現在分散保管している文化財等を一括して保存管

理するとともに、考古資料や古文書等の充実した展示が可能な歴史資料館の機能を有する施設としてリニューアルしたいと考えている。また、これ以外の用途として、課題を抱える子どもを対象に、「子どもサードプレイス」としての活用や市民交流スペースとしての利用も併せて検討を進めている。

(教育部長)

問 将来的には立て直した方が有利と思うが、教育委員会庁舎を再利用する理由は。併せて駐車スペース拡張について尋ねる。

答 現在、市の計画においては、建築から50年以上が経過しているものの頑丈な建物であることから、改修して活用していく方針である。なお、駐車スペースについては、敷地の内容や付属施設の配置及び隣接する中央公民

館での活用も含めて検討の余地はあると考えている。

(教育部長)

問 教育委員会庁舎裏手周辺は荒れ放題である。この辺りは江戸時代宇土支藩の歴代藩主が政務活動していた陣屋跡地であり、このままで良いのか。先人達に敬意と感謝を込めて整備することは、我々の義務ではないかと思うがどうか。

答 新庁舎に教育委員会の機能を移転したのは、一階をサードプレイス、二階を文化財の資料館的な位置付けとして改修を行いたいと考えている。また、中央公民館、市民会館を含めたエリア全体的な利用を考えると、駐車場がとても十分とはいえないということをご指摘のとおりである。当該土地は、駐車場の拡張用地としての可能性は十分にあるので、調査して検討する。

(市長)

要望 あらゆる角度から十分検討し、将来に禍根を残さない施設になることを願いたい。



重要な観光地ジンベエ像と長部田海床路

より暮らしやすい宇土市をめざして



(公明党)

中野 洋一 議員

伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施(出産・子育て応援交付金) について

問 妊娠期から子育て期の家庭に対し、どのような支援を行っているか。

答 妊婦健康診査及び歯科診査の費用助成並びに助産制度、産後ケア事業、乳児家庭全戸訪問事業並びに産後ママサポート事業、養育支援訪問事業などにより、不安なく安心して子どもを産み養育できる環境を確保し、支援を行っている。(健康福祉部長)

問 国の補正予算で創設予定の出産・子育て応援交付金の実施方法は、

答 妊娠届出時に妊婦一人当たり5万円、出生届出後に新生児一人当たり5万円を現金給付で検討している。(健康福祉部長)

災害避難所におけるペット同行について

問 ペット同行避難の現在の対応は、

答 車中泊又は親戚や知人宅等への避難をお願いしている。(総務部長)

問 ペット同伴者避難所の設置はできないか。(総務部長)

答 環境省のペット同行避難訓練の検証結果や先進自治体の事例等も参考に研究したい。また、安全な避難場所は避難所だけではなく、親戚や知人宅等ペット同行避難できる安全な避難場所を事前に検討いただきたい。将来的には、市内7校区で立ち上げを進めている自主防災組織連絡協議会内に設置する避難所運営委員会の組織の方々とともにペット同行避難について知識を深め、協議・検討を進めたい。(総務部長)

人口増加に向けての取組について

問 人口増加に向けての施策は、

答 移住・定住の促進として、空き家バンク制度や新築住宅への固定資産税の減免などを行っている

る。さらに多様なニーズにあわせて子育て支援の充実として、子育て世代包括支援センターの設置や公立幼稚園での一時預かり保育などを実施している。(企画部長)

問 空き家購入者への支援は、

答 宇土市空き家バンク制度に登録した物件所有者や移住希望者に対して、登録空き家の改修費用、また、家財道具等の撤去費用の補助がある。(企画部長)

魅力ある宇土市のPRについて

問 豊かな自然や伝統文化など宇土市の魅力について、PRの現状と今後の取組は、

答 若手職員を中心としたプロジェクトチームを設置し、人口流出抑制や転入者の増加を目指し、本市の魅力と認知度を高めるよう、SNSの活用によるPRに取り組んでいる。今後、新たな観光資源として「ジンベエ像」の活用を力を入れていきたい。また、今年度、観光パンフレットの改訂を予定しており、新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた観光情報発信の強化を図りたい。(企画部長)



れいんぼーマルシェ 男女共に力を合わせて



網田教育の里まつり 老若男女でロング巻き寿司

宇土市民へ海苔の美味しさを伝えよう！ 互いを認めあい、支えあう社会の実現に向けて

海苔の消費拡大について

問 魅力ある農海産物が豊富な本市。特に有明海の干満の差が美味しさを生み出していると言われていて、海苔の普及推進についてどのような形で行っているか。

答 本市は県内でも有数の海苔養殖地域であり、令和3年度海苔共取実績は約1億6千万枚の生産枚数となっている。毎年、住吉漁協と網田漁協から地産地消を目的に乾海苔を寄贈いただいている。宇土産の美味しい海苔を子ども達に食べて欲しいとのことから市内幼稚園・小中学校の給食で提供しているところである。また、住吉漁協で50年ぶりに復活した昔ながらの製法で作る「手漉き海苔天日干し」や同漁協女性部が作る海苔の佃煮「海苔子の一品」などを、海苔の消費拡大の為に市も協力し、各種イベントでPR・販売



(無所属)

浦本 晴美 議員

を行っている。今後も漁協や関連団体と連携し宇土産の海苔の普及推進に取り組み、市民へ海苔の魅力を広く発信していく。

(経済部長)

男女共同参画について

問 男女共同参画に関する市民意識調査について11月にアンケート調査が行われたが、回収率はどうのくらいか。

答 本市における男女共同参画については、「男女が自分らしさを発揮し、ともに自立し支えあう多様性に富んだ活力ある地域社会の実現」を基本目標に取り組んでいる。今回の市民意識調査は、市民の男女共同参画に関する意識の変化を把握し、市が取り組むべき施策の参考資料とするため、満18歳以上の市民の中から無作為に抽出した2千人を対象とした調査で、

12月1日時点で回収率は32.95%となっている。(企画部長)

問 本市は、20年近く男女共同参画の啓発活動を行ってきた。性別に捉われずあらゆる分野でそれぞれの個性と能力が発揮出来ている社会に近づいていると実感しているか。

答 あらゆる分野を網羅しているかという点については実感できずにいるということが率直な感想である。男女共同参画の推進については、市役所内部からモデル的に取り組もうということを立てた具体的目標のうち、令和3年度の男性職員2名の育児休業取得は新しい動きと捉えている。また、市の役付き職員に占める女性職員の割合について、平成22年度において15.6%だったものが令和3年度には33%と倍の数値に伸びた。引き続き一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、持続可能で活力ある社会を目指す取組を実施していく。(市長)



現 網田公民館の利活用を探る!



(株)With Farmer平戸社長(左)と移住し就農した吉川さん

お試し移住・お試し農業にかかる空き家活用策について 移住体験短期滞在施設の必要性を問う!



(無所属)

佐美三 洋 議員

質問趣旨(背景) 農業参入を支援する(株)ウイズファーマーが本市で手掛けた初の新規就農者吉川さんは本年4月、神奈川県から家族と共に網田地区に移住した。同社、平戸社長は今後更に都会から人を呼び込むにはお試し移住・お試し農業を実践する移住体験滞在施設の整備が必要と語った。

移住体験滞在施設の必要性

問 網田・網津両地区は農業後継者が激減し耕作放棄地も顕著に増えている。よって新規就農を志す移住者の呼び込みは喫緊の課題である。そこで技能習得を行う事は元より、住まいの確保も必要不可欠で、近年急増する空き家の活用と併せた方策が求められる。ただし課題として移住者は全く知らない土地でいきなり馴染めるのか、田舎独自のしきたりや密接な近所付き合い(葬

式の手伝いや区役、村の祭り等)は、特に都会で暮らしてきた人には煩わしく困惑する事もある。本気で移住を推進するには移住後のトラブルを極力防ぐため、あらかじめその土地の事を把握し田舎で暮らす覚悟を見極める一定期間が必要と考える。それには、お試し移住体験滞在施設の整備が重要と考えるが見解は。

答 県内でもお試し移住制度を導入している市町村はある。お試し農業についても先進自治体で導入している。今後情報収集に努め導入に向けた検討が必要と感じている。

問 移住体験滞在施設を設けるには、モデルとなる空き家を市が借り上げる手法や網田地区の場合、新網田支所庁舎が令和6年度中に整備完了する。現庁舎や現網田公民館の機能も新庁舎に移るため、当該施設をリニューアールし活用してはどうか。

(市長)

答 網田支所庁舎は建築年数の関係で受け皿としての考えはないが、網田公民館の活用は可能性としてあると考える。(市長)

空き家対策に「地域のチカラ」を

問 職員数が絶対的に少ない本市では空き家対策に専任を置く状況にない。であれば地域の力も活用してはどうか。社会的に第一線を退いた高齢者の中には、社会貢献を考えると高い意識の人もいる。こういう方々を行政と家主あるいは移住希望者との仲介役として、また登録拡大や移住後の良き理解者、相談相手として支援を担う仮称・空き家バンクサポーターにお願いし円滑な運営に寄与してもらおう手法を取り入れてはどうか。

答 移住定住策は、人口減少が著しい西部地区の大きな課題と受け止めている。来年度は組織見直しも含め体制強化を図り、より効果的な支援制度を検討する。議員提案の支援制度も選択肢と考える。(市長)



相変わらず執拗な感染防止策を敷いている学校現場(屋外でサッカー中もマスク姿の子ども達)

子どもの将来のためにマスク着用見直しを



新型コロナウイルス感染症について

問 マスク、PCR検査、ワクチンと相変わらず執拗な感染防止策を敷く我が国。サッカーW杯で、現地や国内外のプリックビューイング参加者などはノーマスクで騒いでいる一方、国内で静かに仕事する人や勉強する子どもたちがなぜマスク着用なのか疑問である。また忘年会でトイレに行くときマスク着用、席に戻るとマスクを外し飲食と会話が始まる。マスクに効果があるのなら、徹底してすべきだが、皆誤った認識・使い方をしている。大人がそうだから子どもにも押し付ける。黙食などもっと厳しいことも押し付けている。正しいことを子どもに教えるのが教育の根幹であるはずだ。このコロナ対策は政府も試行錯誤している。国民・市民に一番近いのは基礎自治体であ

(宇土市政研「志」)

今中 真之助 議員

る。市職員そして議員が未来の宝である子ども達のことを考える適切な対応をしないと、大人の事情で子どもたちが犠牲になるのではないかと危惧する。今後の幼稚園や学校、保育所、学童でのマスク着用について尋ねる。

答 小学校就学前の幼児にはマスク着用を一律に求めている。学校現場では距離が取れる屋内や屋外はマスクを外してよいことを学校長に通達している。

(健康福祉部長)

問 感染後の後遺症やワクチン接種後の後遺症の認識について尋ねる。

答 感染後の後遺症は多岐にわたり、感染予防が最重要と考えられる。ワクチン後遺症は医療現場から報告はないが、公表された場合迅速に情報提供を行う。

(健康福祉部長)

要望 ワクチン後遺症に苦しむ方は間違いなくいる。ある医者

も気づいている。医師会ともっと密にこの問題に取り組み市民に寄り添ってほしい。

問 ワクチン接種記録保存は現行5年である。今後後遺症を訴える方が多く出ることに備え延長すべきでないか。

答 保存期間到来時に法令等とも照らし合わせ、延長要否を検討する。

(市長)

職員の負担軽減について

問 病による長期療養中と育児休暇中の職員が13名いるが、市民、議員からの対応や相談によるものがあるのではと思ひ、係長以上の職員に議員からの圧力についてアンケートを行った。この時代に議員からの圧力や機関紙購読強制による付度が働いていることがわかった。市長には内容を示したが見解は。

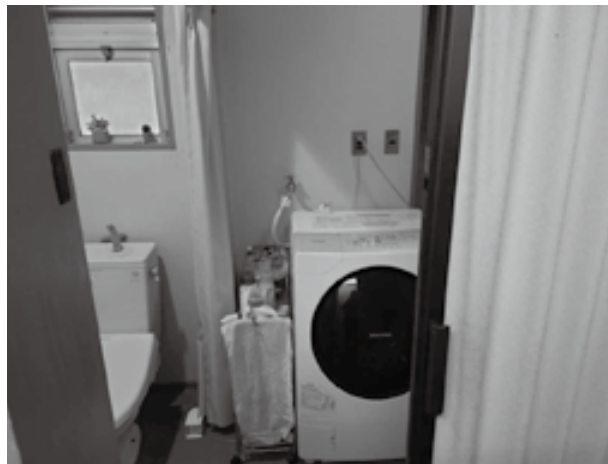
答 意見の相違等の可能性があるため見解の答弁は差し控えた。今後、議員各位といるいかな形でお話ししていきたい。

(市長)

要望 市長のリーダーシップと議会改革により職員が楽しく働ける環境になる事を望む。



災害に強い防火貯水槽



特別支援学級のトイレ

障がいのある子ども・障がいのない子どもが共に学ぶ仕組みづくり インクルーシブ教育

会員で情報共有されている。市でも、市民に対してインフルエンザワクチン接種費用の助成の周知や体調不良時に必要な物品の備えを啓発していく。(健康福祉部長)

新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ同時流行対策について

問 今冬は、今夏(第7波)を上回る新型コロナウイルスの感染拡大が生じる可能性がある。加えて、季節性インフルエンザも流行し、より多くの発熱患者が同時に発生する可能性があるが、その対策は。

要望 災害時断水が起きた場合消火栓は役に立たない。地域を守るために、五色山防災広場に40トン以上の防火水槽の検討を。(市長)

答 今回の住宅火災は、消防署が到着した時、既に火の勢いが強く火災の入電から鎮火まで5時間20分を要した。水利として利用できる場所を消防署や地元消防団と情報共有することが重要。防火水槽の整備や消火栓設置費用の助成事業の周知を図り、消防水利の確保に努めたい。

問 今回の住宅火災での消火活動において、課題となったことはあるか。また、課題となったことがあれば、どのような対策を講じていくのか。

答 今回の住宅火災は、消防署が到着した時、既に火の勢いが強く火災の入電から鎮火まで5時間20分を要した。水利として利用できる場所を消防署や地元消防団と情報共有することが重要。防火水槽の整備や消火栓設置費用の助成事業の周知を図り、消防水利の確保に努めたい。



(無所属)

榎崎 政治 議員

11月6日に上松山地区で発生した住宅火災について

特別支援学級のトイレについて

問 特別支援教室のトイレのドアがアコーディオンになっている。またその奥のシャワー室では、車椅子の妨げになる洗濯機が入口にあり、洗濯機の排水口から出た泥が、タイル張りの床に溜まり不衛生で、障がい者への配慮がなされていない状態である。さらに普段生徒が使用するトイレのスリッパ置き場にある木枠は、弱視の生徒がつかずく可能性があるがどう考えているか。

答 トイレやシャワー室はすぐに対処を行う。木枠についても弱視者の立場では障害物となり得るものである。今後は、インクルーシブ教育の理念である「障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学ぶ仕組み」の構築を目指し、全ての子どもたちが安全で安心して生活できる学校にするため計画的に進める。(教育長・教育部長)

要望 施設のバリアフリーはお金をかければ改善できるが、心のバリアフリーはそうはいかない。教育に携わる方々には現場を見ていただき、心のバリアフリー化にも努めてもらいたい。



27年前市民協働で設計された伊万里市民図書館



ガンバ大阪スタジアム(吹田市サッカー場)

下水道地域外の生活環境改善, 図書館の専門スタッフ育成, ロアツソサッカースタジアム誘致

人口減少地区の生活排水と環境改善

問 夏に、生活排水が小さな側溝や水路からの悪臭となつていると何度も聞く。海岸のヘドロは、生活排水が要因だと言われる。生活排水を下水処理施設の2次処理レベルまで綺麗にする合併処理浄化槽の普及が必要と考える。今後の対策は。

答 水質汚濁を表す指標であるBODの処理能力は、単独浄化槽では20%、合併処理浄化槽では90%と4.5倍になる。本市でも合併処理浄化槽設置に補助金を交付し、広報紙やホームページ等で周知しているが、現在の人口普及率は30%程度にとどまっており、さらなる取組が必要と考えている。(市民環境部長)

図書館司書の数 10年前、5年前、現在

問 市立図書館に勤務する司書



(宇土市政研「志」)

野口 修一 議員

資格を有する職員数の10年前、5年前及び現在の状況と、図書館に勤務する会計年度任用職員の採用状況は。

答 10年前は、正職員及び非常勤職員合わせて8名体制、うち4名が司書。5年前は、7名体制、うち1名が司書。現在は、正職員及び会計年度任用職員合わせて11名体制、うち4名が司書となっている。また会計年度任用職員は、1年間の任用で公募を行い、面接等で決定しており、最大3年間更新することができる。(教育部長)

要望 市民が本に親しむのに司書がもつと必要であり、伊万里市民図書館のやっている「議会支援サービス」を行えるようなベテラン司書の育成が市立図書館に急務と感じる。9月議会で、図書館長を公募する計画の報告があったが、司書活動の部分だけを、本に専門的な知識を有する非営利団体に委託して雇用を

ロアツソサッカースタジアム誘致

問 地震前、県サッカー協会のフットボールセンター誘致に市議会も動いた。県内サッカー関係者から、市の提案は第一候補の評価を受けた。将来ロアツソ熊本がJ1に定着し、専用グラウンドを建設する機会があれば、宇土市へ誘致したい。スタジアム誘致についての考えは。

答 熊本県民総合運動公園一帯には、他のスポーツ施設もあり、大会等とロアツソの試合が重なる。周辺道路の大混雑や駐車できないなどの課題を抱えている。ロアツソがJ1に昇格すると、さらに多くの利用者が見込まれる。現在の施設は、サッカー専用スタジアムではないため、鳥栖スタジアムのような選手と観客が近い臨場感が足りない。新たなスタジアム建設の可能性があれば、検討しなければならぬと考える。(市長)



大曲交差点の交通渋滞解消対策

安全・安心なまちづくり

大曲交差点の交通渋滞 解消対策について



(無所属)

中口 俊宏 議員

問 国道57号と市道高柳境目線が交差する大曲の交差点は、特に朝は、網田方面から当該交差点を市役所方面へ右折する車両が多く、馬之瀬町のセブンイレブン付近まで渋滞している。また、夕方には逆に市役所方面から進行し、網田方面へ左折進行する車両が多く、時間帯によってはダイレックス付近まで渋滞することもある。渋滞解消は道路利用者等市民の切実な願いである。当該交差点の渋滞解消対策について市長に質問する。

答 議員ご指摘の大曲交差点の交通渋滞は、道路利用者や近隣の方々等にご不便をおかけしている。また、この交差点を利用される多くの皆様からどうにかならないかとのご意見を頂戴している。市としても、多くの車両が入り

できるような網田方面から市街地へ入る右折矢印と市街地から網田方面に出る左折矢印の信号機設置について警察と協議したが、踏切に隣接し危険である等から難しいとの意見である。また、交差点改良対策として交差点の信号に従わず市街地から国道57号の網田方面に出ることが出来る左折専用の導流路の設置を警察と協議したが、国道501号との交差点と近く危険であるとの意見である。渋滞解消の具体的な対策は見いだされていないが、本市の重要な懸案事項であり、今後警察、国土交通省、JR等の関係機関と問題解決に向けて取り組んでいく。(市長)

スポーツ大会出場補助金 増額について

問 令和2年3月、議員有志により、小・中学生が全国大会へ

出場する際の補助金増額等を要望しているが、現状について質問する。

答 既存の要綱と併せて新たにジュニアに特化した要綱を制定し、令和4年4月から運用している。具体的には、既存要綱に基づく補助金に加え出場人数上限を10人から23人とし、大会規模に応じた出場加算額と大会期間に応じた宿泊加算額を補助金として追加交付している。(教育部長)

中学校吹奏楽部の楽器に ついて

問 鶴城中学校の吹奏楽部の楽器は30年以上経過しており、今後の対応を要望しているが取組の現状について質問する。

答 部活動で使用する楽器は、部費や交友会費で購入するとしてきた考えを見直すこととしている。また、楽器の買い替えは来年度からでも対応できるよう考える。一度に買い替えは難しく、年度ごとに予算要求を行い、学校と協議し計画的に進める。(教育長)



給食センターの調理の様子

小中学校や保育園の給食費・副食費の負担軽減と高齢者施設等への財政支援を



(共産党)

福田 慧一 議員

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行対策について

問 新型コロナウイルス感染者が2か月ぶりに増加している。保健所・発熱外来など医療機関の体制強化、ワクチン接種の促進、保育園・学校・高齢者施設等の感染防止対策とそれに必要な備品購入に対する財政支援は。

答 感染の第八波に備え、発熱外来の体制が強化されている。また保育園や学童クラブ、高齢者施設等では感染予防対策の徹底、また市では必要な物品の購入費用助成、インフルエンザワクチンの接種推進に努めている。

(健康福祉部長)

物価高騰対策について

問 物価高の原因はロシアによるウクライナ侵略だけでなく、円安による輸入物資の大幅な値上げによるもので、今後も値上げ

は続く。その対策として小中学校・保育園の給食費・副食費の負担軽減と今後の支援、生活困窮者・事業者・農林漁業者・高齢者施設等への財政支援は。

答 幼稚園・保育園・小中学校に関しては保護者の負担軽減として「学校給食食材費支援事業」や3か月分の「給食費支援金」その他「副食費支援」。事業者には「公共交通緊急支援金」「運送事業者等燃料費支援給付金」「施設園芸用燃油価格高騰対策給付金」「葉たばこ乾燥用等燃油価格高騰対策給付金」「漁業者燃油価格高騰対策給付金」を実施。市民全体への「新型コロナウイルス対策家計応援商品券」等の施策を行っている。

(教育部長・経済部長)

介護保険のサービス削減、負担増に反対を

問 国の社会保障審議会で利用料の引き上げやサービスの削減

などが審議されている。これが実施されれば、物価高で苦しむ高齢者や家族は負担が増え、必要な介護が受けられない。現場から反対の意見を挙げるべきではないか。

答 これ以上市民負担が増えないよう、引き続き保険料の軽減策や公費負担割合の拡大等について国や県に要望していく。

(健康福祉部長)

校則の見直しについて

問 令和3年9月議会で校則の見直しについて質問したが進んでいない。その原因として子どもの権利に関する条約や改訂された生徒指導提要の理解が進んでいない。徹底が必要ではないか。

答 校則見直しの進捗状況は、なかなか進んでいない状況にあるため、周囲の大人が、児童の権利に関する条約の視点を踏まえた新たな生徒指導提要に則り、児童生徒自らが校則の見直しに参画できるように自らの権利について知らしめる機会を作ることが重要であると考えている。

(教育部長)

総務市民

総務部・企画部・市民環境部
行政委員会などを所管



小崎憲一委員長

《議案関連》

宇土市部設置条例の一部を改正する条例

問 企画部から企業等の誘致に関する業務を経済部に移管することだが、どの課に移管するのか、また、土地開発公社の業務についても同様に移管するのか。

答 企業等の誘致等に関する業務については、商工観光課への移管を予定している。また、土地開発公社の業務については、他部署への移管も含めて現在検討している。

問 企業等の誘致に関してはノウハウが重要な業務であり、経済部に移管する際は、人員の配置に関しても十分検討してほしい。

答 職員の適正も考慮して精査し、今後、適材適所の人員配置を行っていききたい。

宇土市納骨堂条例

問 今後、納骨堂の使用者の継承がされず、使用者との連絡がなくなることとも考えられるが、どのように管理していくのか。

経済建設

経済部・建設部・農業委員会を所管



今中真之助委員長

《議案関連》

宇土市水道事業給水条例の一部を改正する条例

問 水道加入金の引き上げについて、県内の10市の平均に合わせるということだが、経営状況としては決算剰余金もあり、上げる必要があるのか。

答 今後給水人口が減り、さらに節水機器の普及などにより水の利用が減少する上に、施設の更新が重なりと安定的な経営が難しくなってくる。そのため、加入金については県内の平均程度のところまで上げることに御理解いただきたい。

令和4年度宇土市一般会計補正予算(第8号)

問 うどん行長ちゃんに係る観光プロモーション事業に要する経費について、この費用の主なものは何か。

答 主なものとしては人件費である。その

他、移動費などの諸経費が含まれる。

問 令和2年度から4年度の、現在の契約の予算はどうであったのか。

答 今回と同規模である。

(委員から意見) この3年間は、コロナ禍だったのであまり動けなかったと思うが、その期間にどのような活動をしたのかを確認し、振り返りを行うことで宇土市のさらなる観光PRに向けて、今後の活動に活かせるのではないか。

《議案以外》

施設園芸用燃油価格高騰対策給付金について

問 申請件数は増加傾向なのか、また補助金額はどれくらいなのか。

答 現在、約140件の施設園芸農家があるが、11月末現在で55件の申請があつている。補助金額は、燃料費上昇分の単価と購入数量を掛けて算出している。

問 現在の実績が施設園芸農家数の約3分の1と、申請数が少ないのではないかと。

答 未申請に対して、チラシ等で再度周知の徹底を図りたい。

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



榎崎政治委員長

《議案関連》

宇土市放課後児童クラブ施設条例の一部を改正する条例

問 宇土小学校敷地内に、新たに第2児童クラブを創設するということだが、どういう状況なのか。

答 宇土小校区は利用希望が特に多く、年度当初に待機児童が発生している。宇土小学校児童クラブでは、定員の60人を超えて受け入れていただいている状況であり、今回新たに創設することで、定員が40人増え、100人となる。

問 他の校区の児童クラブの状況はどうか。

答 宇土小校区以外では受け入れは出来ていない。ただ、児童数が宇土小校区の次に多い花園小校区では、4つの児童クラブがあるが、より学校に近い施設には定員以上の申し込みがあり、希望に沿えない場合がある。

令和4年度宇土市一般会計補正予算(第8号)

問 H P V、子宮頸がん予防ワクチンの接種差し控えの期間に、接種時期を逃した年齢層を対象とした、H P Vキetchupアップ予防接種について、今年度、予防接種をされた方は何人いるのか。

答 今年度の接種者は、10月まで1888人である。昨年度は1年間で204人だったの増えていると言える。

(委員から意見) 日本では、年間約3,000人もの命が子宮頸がんを奪われている。少しでも多くの方にキetchupアップ接種を受けて

いただきたいので、1月に開催される「二十歳の祝典(成人式)」でリーフレットを配布して周知するなど、是非、関係部署で連携して取り組んでほしい。

問 図書館の開館時間延長について、どのような延長を行ったのか。また、その結果はどうであったか。

答 平日の開館時間は、通常、午前9時30分から午後6時までだが、7月から9月までの3か月間、試験的に水曜日を午後7時まで延長した。結果としては、利用者数にあまり伸びは見られなかった。今後のことについては、土日の開館時間延長も含め検討しているところである。

問 給食会計の公会計化について、給食費の徴収管理業務は全て給食センターで行うようになるのか。

答 現在、各学校の担任や事務員が行っている現年度分の給食費の徴収管理業務は、全て給食センターで行うこととなるため、給食会計システムの導入が必要である。なお、公会計への移行は、令和6年度を目指しており、徴収方法などの具体的な事項は、これから協議していくこととなる。

《議案以外》

鶴城中学校の特別支援学級のトイレコンスト

(委員から意見) 通常学級のトイレは改修され綺麗になっているが、それと比べ、特別支援学級のトイレやシャワー室のひび割れが、今定例会の一般質問の指摘でわかった。施設のバリアフリーはお金をかければ簡単に改善できるが、心のバリアフリーはそうはいかない。教育に携わる方々には現場を見ていただき、心のバリアフリー化にも努めてもらいたい。

(委員から意見) 異動がある先生たちにとっては一時的なことかもしれないが、子どもたちにとってはかけがえのない時間を学校で過ごすので、子どもたちに必要なものは現場から声を上げていただきたい。教育委員会ではその支援をお願いしたい。

地域高規格道路促進等対策特別委員会



西田和徳委員長

《執行部からの説明》

熊本宇土道路、宇土道路、宇土三角道路における予算配分、用地進捗率、事業進捗率は、前回の報告から変更はあっていない。

宇土道路

令和2年度事業国庫債務負担の工事で、「熊本57号笹原トンネル新設工事」、また、令和3年度繰越事業の、「熊本57号 網津地区5号工事用道路3期工事」及び「熊本57号 城塚地区改良12期工事」並びに「令和3年度 国道57号宇土道路用地関係資料作成業務」の工期がそれぞれ延長されている。

令和4年度事業の「熊本57号 網津地区改良工事」で、契約締結がなされており、これは、馬門区・割井川区付近の本線道路の地盤改良工事となっている。

「熊本57号 長浜地区工事用道路工事」で、契約締結がなされており、これは、網田インター方面から網津長浜トンネル方面に向かう工事用道路の建設工事となっている。

「熊本57号 糖塚山トンネル新設工事」では、入札に伴う公告がなされた。

用地補償の「令和4年度 宇土道路外事業損失事前調査等業務」で、契約締結がなされており、業務内容は、宇土道路の工事に伴い、事業損失が予見される建物等の事前調査業務及び用地取得に必要なとなる用地調査、物件調査、補償説明業務、並び

に宇土三角道路の用地取得に必要となる権利調査等となっている。

《主な質疑》

(前回委員会の要望) 網田インター、城塚インター付近の土地利用をどう考えているのか報告してほしい。

答 宅地等造成事業調査業務委託を実施しており、現在、開発計画の検討や収支計画の作成をし、事業採算性、実現可能性について検証している。網田インターでも同様の調査を検討中である。

(委員から意見) 早く具体的な計画が欲しい。

(前回委員会の質疑) 網津長浜トンネル出口付近を津波の時の避難路として活用できるか。それは設計段階から行う必要があるか。

答 まず市で必要性等の精査を行い、現場条件等によっては要望が実現できないため、危機管理課と調整していく。また、国交省から詳細設計は既に終わっているが、今後の協議により修正設計は可能とのことであった。

問 熊本宇土道路の用地進捗率に対して事業進捗率が低率なのはなぜか。

答 橋の建設に当たり、漁協との補償交渉が進んでいないためと思われる。

(委員から意見) 橋については以前から委員会でも取り上げているので、国交省に補償交渉がどうなっているか確認してほしい。

問 高規格道路が開通すると、既存国道の交通量はどうなるのか。

答 国による解析が行われているため、その資料を提供する。

(委員から意見) 網田インターについて、工事用道路などを活用し、網田集落から国道を通ることなくインターに乗れるようにしてほしい。

令和4年12月宇土市議会定例会議決結果一覧

賛否のわかれた議案等

提出者	件名	議決結果	表決数 賛成一 反対	六政会 宇土市政研「志」																		
				宮原 雄一	山村 保夫	今中真之助	西田 和徳	野口 修一	土黒 功司	杉本 寛	中野 洋一	浦本 晴美	佐美三洋	小崎 憲一	園田 茂	柴田 正樹	櫻崎 政治	中口 俊宏	藤井 慶峰	村田 宣雄	福田 慧一	
市長	第94号	宇土市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第95号	宇土市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第96号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第102号	宇土市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第113号	宇土市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第114号	宇土市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第115号	宇土市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第117号	令和4年度宇土市一般会計補正予算(第9号)について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議員	発議第6号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書	可決	15-2	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	発議第7号	医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める意見書	可決	15-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	発議第8号	介護保険制度の改善を求める意見書	可決	15-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年陳情第3号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書	採択	15-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年陳情第4号	医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める陳情書	採択	15-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年陳情第5号	介護保険制度の改善を求める陳情書	採択	15-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○=賛成又は採択,●=反対又は不採択,欠=欠席,退=退席,除=除斥 ※議長職の藤井慶峰議員は、可否同数の場合のみ裁決するため、「-」と表示しています。

全員賛成の議案等

提出者	番号	件名	議決結果
市長	第86号	令和3年度宇土市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
市長	第87号	令和3年度宇土市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第88号	令和3年度宇土市北段原土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第89号	令和3年度宇土市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第90号	令和3年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第91号	令和3年度宇土市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第92号	令和3年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第93号	宇土市部設置条例の一部を改正する条例について	可決
市長	第97号	宇土市個人情報保護法施行条例について	〃
市長	第98号	宇土市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第99号	宇土市墓地条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第100号	宇土市納骨堂条例について	〃
市長	第101号	宇土市放課後児童クラブ施設条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第103号	熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について	〃
市長	第104号	宇土市庁舎建設工事(本体工事)請負契約の変更契約(第2回)の締結について	〃
市長	第105号	宇土市庁舎建設工事(電気設備工事)請負契約の変更契約の締結について	〃
市長	第106号	宇土市庁舎建設工事(機械設備工事)請負契約の変更契約(第2回)の締結について	〃
市長	第107号	指定管理者の指定について	〃
市長	第108号	令和4年度宇土市一般会計補正予算(第8号)について	〃
市長	第109号	令和4年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	〃
市長	第110号	令和4年度宇土市水道事業会計補正予算(第3号)について	〃
市長	第111号	令和4年度宇土市公共下水道事業会計補正予算(第3号)について	〃
市長	第112号	宇土市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意
市長	諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	答申
市長	第116号	宇土市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決
市長	第118号	令和4年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	〃
市長	第119号	令和4年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	〃
市長	第120号	令和4年度宇土市水道事業会計補正予算(第4号)について	〃
市長	第121号	令和4年度宇土市公共下水道事業会計補正予算(第4号)について	〃
市長	第122号	令和4年度宇土市一般会計補正予算(第10号)について	〃
議員	発議第5号	宇土市議会の個人情報の保護に関する条例について	〃

報告

報告番号	件名
第16号	専決処分の報告について 専決第12号 損害賠償額の決定について
第17号	専決処分の報告について 専決第13号 損害賠償額の決定について
第18号	専決処分の報告について 専決第14号 損害賠償額の決定について

全員賛成の議案

提出者	番号	件名	議決結果
市長	第85号	令和4年度宇土市一般会計補正予算(第7号)について	可決

熊本天草幹線道路整備促進を国に要望

10月31日に、国土交通省九州地方整備局及び八代河川国道事務所、また、11月7日には、熊本県選出の国会議員及び国土交通省の本省に対して、熊本天草幹線道路の早期全線開通と整備に伴う所要の予算の確保を強く要望しました。

東京での要望活動では、金子恭之衆議院議員、松村祥史参議院議員、馬場成志参議院議員、藤木真也参議院議員に面会し、意見交換を行いました。また、国土交通省本省訪問の際は、斉藤鉄夫国土交通大臣をはじめ、事務次官、技監など多くの方に直接要望を伝えることができました。今後の事業促進に繋がる大変実のある要望活動でした。

市議会では、平成10年に「地域高規格道路促進等対策特別委員会」を設置し、熊本天草幹線道路の早期開通に向けて取り組んでいます。



国土交通省での要望活動

行政視察受入状況 (令和4年10月~12月)

視察日・視察者及び団体名・調査事項
10月27日/東京都練馬区議会 宇土市立宇土小学校について
11月1日/栃木県鹿沼市議会 鉄道の利活用等による交通政策について
11月2日/神奈川県愛川町議会 平成28年熊本地震からの復旧・復興状況及び防災対策について

市議会からのお知らせ

市議会のホームページで、本会議(定例会・臨時会)の会議録を公開しています。

[アドレス] <https://www.city.uto.lg.jp/>

本会議の会議録(冊子)は、市情報公開コーナー(仮設庁舎1階ロビー)、市立図書館で閲覧できます。

なお、令和4年12月定例会の会議録は、令和5年3月定例会以降に閲覧可能です。

[お問合せ] 市議会事務局 0964-22-1111 内線234



令和5年3月定例会会期日程及び傍聴の御案内

12月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、一般傍聴を通常どおりとしました。今後の感染状況によっては、再度自粛をお願いする可能性がありますので、日程及び傍聴につきましては市議会ホームページの閲覧又は議会事務局までお尋ねください。日程については広報うと3月号にも掲載します。

編集後記

市民の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、今年は待望の新庁舎が完成して5月から供用開始となります、併せて新議場での6月議会にも期待が膨らみます。

市議会も新体制となり、議会だよりも今号から新しい編集委員での発行となりました。これに伴い、今号から議会で議論された市民の皆さんに身近な題材を表紙の写真に取り上げていくこととしました。

議会の活動を市民の皆さんにお伝えする「議会だより」は、市民の皆さんと議会をつなぐ大切な紙面だと考えています。今後も内容の充実を図りながら、分かりやすく読みやすい議会だよりを目指してまいります。



左から今中副委員長、宮原委員長、樫崎委員、小崎委員

編集委員

委員長/宮原雄一 副委員長/今中真之助
委員/樫崎政治 委員/小崎憲一

